



【作品解説】

この『懐』という字を選んだきっかけは、先生がみんなにこの古代文字を紹介していておもしろそうな形だったから選びました。軽い気持ちで選んだのですが、死者をなつかしみ思うという意味だと知って、4年前に死んだひいおばあちゃんを思い出しました。ひいおばあちゃんは、大阪に住んでいて夏休みと冬休みしか会えませんでした。記憶にもほとんどなかったのになぜか心があたたまることがしました。家に帰ってアルバムを見てみました。そこには、笑顔のひいおばあちゃんと、だっこされている赤ちゃんの私がありました。そして私はまたあたたかい気持ちになりました。

作品には、悲しい感じよりもあたたかい感じをイメージして書きました。この気持ちがひいおばあちゃんにとどいたらいいと思っています。